

平成 30 年度 第 1 回 屋代高等学校・附属中学校 学校評議員会 記録

日 時： 平成 30 年 8 月 2 日(木) 10:00～11:40

場 所： 同窓会館 2 階 鳩陵ホール

出席者： 学校評議員 7 名

学校職員 11 名（学校長，教頭，副校長，高校教務主任，広報入試係長，
SSH 委員長，フロンティア委員長，生徒会係主任，理数科委員長）

司 会： 教頭

1 開会 学校長より (学校長)

2 自己紹介

3 学校からの説明 各担当より本校の課題について

- (1) 附属中学校について (副校長)
- (2) 進路および学習の状況と課題について (教頭)
 - ・今年度(高 3)の進路希望状況
 - ・附属中 1 学年及び高 1 学年の状況
- (3) 生徒指導全般について (教頭)
- (4) 第 IV 期 3 年次 SSH について (SSH 委員長)
 - ・今年度の取組み
- (5) 入試選抜，広報関係について (広報入試係長)
 - ・平成 30 年度入試の志願状況
 - ・平成 30 年度授業公開、体験入学
- (6) 学校評価について (教務主任)
 - ・平成 30 年度重点目標と学校関係者評価

(1)～(3)について

質問・意見

- ・大学においても発達障害を抱える学生が増加の傾向。屋代中高での現状は？
- ・3 月卒業生について、入学して卒業出来なかった生徒が気にかかる。
- ・学生の多様性が増加傾向にある昨今、方向転換が必ずしも悪いこととは言えない。
- ・一時廃れていた中学校登山がまた復活の兆しを見せている。質実剛健を謳う本校で今後の見通しは？
- ・信大合格者のうち、教員志望者はどのくらいの数になるのか？理数系の教採合格者数が年々減少しており、志願者増を願っている。
- ・医学部合格者のうち医学科の合格者数は？今年度進路希望調査では、東大志望が減少しており残念。
- ・大人は東大にばかり目が行くかもしれないが、京大を志望する学生が増えているのも屋代高校らしくてよい。働き方改革が叫ばれる昨今、屋代の先生たちは大丈夫かと心配している。
- ・自主的に学ぶ姿勢を持った学生が、大学に入っても伸びる。大学でも高校生向けのプログラムを用意しているのでぜひ活用をして欲しい。

(4)～(6)について

質問・意見

- ・SSHの取り組みについてホームページも見させてもらっているが、全国的に見て素晴らしい実績だと思う。この取り組みが大学進学の結果にどのように具体的に反映しているか知りたい。こういった取り組みから、海外で活躍したりノーベル賞を受賞するような人材が育っていくことを期待している。生徒に指針を示すためにも、屋代高校独自のKPIを作成してみたい。高校の調査書記載項目が大幅に変更となるが、作成の一助にもなると思う。
- ・信大では、インターネットを使って、学生個々人のポートフォリオを作成している。個々の学生が自身の振り返りをしながら課題を設定していく上で有効。
- ・地元千曲市からの中学合格者は減少傾向。千曲市からの志願者数が気になる。地元の生徒にもっと附属中に入って欲しい思いがある。
- ・屋代中高の生徒には、地元にとらえず世界レベルで活躍して欲しい。

4 全体を通じての意見・感想・提言等

- ・学校評価は、個々の学生がどう伸びたかという観点が一番大事だと思う。短期的に評価をすることは難しいことであり、長い目で調査して欲しい。屋代中高はそういう点を重視しており是非継続して欲しい。
- ・附属中が地域探求に力を注いでいる点がありがたい。中学時代そういったことを学んだ学生がまた地元に戻ってくることを期待したい。
- ・文武両道を掲げる屋代高生徒が、大学進学だけでなく、総文祭に向けても活躍していることが素晴らしい。地域を大事にできる生徒に育てて欲しいと思う。
- ・SSHの教育活動を通して最終的な進路を決定した生徒がいた話を知り、素晴らしいと思った。親としては、子供には夢に向かって頑張ってもらいたい。
- ・授業公開の参加者増は確かに附属中への関心が高まっている証拠だが、まだまだ一般の人たちの認知は薄いのではないかと感じる。どうやったらもっと学校の良さを広く伝えられるような場が提供できるか考えて欲しい。
- ・教育制度の様々な枠組みの中で、創意工夫とオリジナリティを追求している屋代中高に敬意を表したい。
- ・一貫生、理数科、普通科といった構図の中で、普通科は幾分陰になっている感が否めないが、今年度入試では普通科志望者数増ということを知りうれしく思う。公私に関わりなく、中高一貫校で学業不振の生徒が出てくることは避けられない。

5 御礼・挨拶

(学校長)